

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
共生学		選択	1	1.2	後期 (隔週)	
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー			
前川 真奈美	B304	manami.maekawa	火曜日 10:40~13:00			
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt;グローバル化の進む現代社会において「共生」は重要な課題の一つである。共生を考えるうえで看過できない偏見や差別について、それらが生じる心理メカニズムや実態を理解する。さらに、それらの知識をもとに自分自身や周囲を振り返り、「お互いに相違を認め合い、相違を超えて人間らしく生きるにはどのような工夫や取り組みが大切か」を考察することを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt;社会心理学の視点から、偏見や差別に関する代表的な知見を解説する。さらに、国籍、ジェンダーとセクシュアリティ、障害、高齢者の4つのテーマを取り上げ、各テーマでグループワークを行い、「共生」に向けた取り組みについて理解を深める。</p>					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ( )					
学習上の助言	オフィスアワーの他、講義中やリアクションペーパーを活用し、積極的に質問して理解を深めてほしい。					
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。					
参考書	偏見や差別はなぜ起こる? /編:北村英哉、唐沢穰/ちとせプレス/2018年					
外部教材	【講義】人権教育 第1講 ドキュメント「青い目・茶色い目」を見て、差別の仕組みについて考える。(岐阜女子大学、文部科学省 私立大学研究ブランディング事業)					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	偏見や差別が生じる心理メカニズムやその実態を理解し、具体的に説明できる。			HSU (1) (2)		
②	共生社会に必要な工夫や取り組みについて、自分の考えを具体的に論述できる。			HSU (1) (2) (5) (6)		
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)			
1	オリエンテーション:グループワークを通して、無意識のうちに形成されている「自分のなかでのあたりまえ」に気づく。	講義・GW	講義中に示した課題に基づいて復習を行う。			
2	国籍:ステレオタイプ、偏見、差別について学ぶ。国籍に関する基本的な知識や、偏見や差別の実態について学ぶ。	講義				3
3	ジェンダー、セクシュアリティ 1:ジェンダーとセクシュアリティに関する基本的な知識や、偏見や差別の実態について学ぶ。	講義				3
4	ジェンダー、セクシュアリティ 2:グループワークを通して、「共生」に向けた取り組みについて理解を深める。	講義・GW				5
5	障害 1:発達障害に関する基本的な知識や、偏見や差別の実態について学ぶ。	講義				3
6	障害 2: グループワークを通して、「共生」に向けた取り組みについて理解を深める。	講義・GW				5
7	高齢者 1:高齢者の特徴に関する基本的な知識や、偏見や差別の実態について学ぶ。	講義				3
8	高齢者 2:グループワークを通して、「共生」に向けた取り組みについて理解を深める。これまでの学習の総括を行う。	講義・GW				5
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照。					

【2022 年度/総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	0	0	60	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	15	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	10	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	15	25
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	学期末にレポートを提出してもらい評価する。レポートのテーマは講義中に提示する。評価は、内容（問いを適切に理解し答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。			Teams を利用して個別のフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎講義後に Teams 上でリアクションペーパーの提出を求める。講義内容に関する気づき、発見、疑問などが具体的に記述されているかを評価する。（全 8 回、各 2 点満点で計 16 点満点）また、第 1・4・6・8 回の終了時には GW の振り返りも作成し提出してもらおう。GW を通して得た気づきや共生に関する考察が具体的に記述されているかを評価する。（各 11 点満点で計 44 点満点）			次回の講義でコメントへのフィードバックを行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	公認心理師資格を有し、大学の学生相談室でのインテーク面接（2 年）や、病院・クリニックでの心理検査の施行（2 年）の経験がある。						
実践的授業の内容	専門性とこれまでの経験をもとに、受講生がイメージしやすい具体例や実践的な情報を交えながら授業を進める。						
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 本科目は面接授業だが、<u>毎回、課題提出等には Teams を利用する</u>。スムーズに使用できるように練習しておくこと。</li> <li>◇ 講義中に、自分の考えを発表する場や学生間の意見交換の場を設ける。他者の考えを知ることのでられる気づきや発見もあるため、積極的な態度で受講することを望む。</li> <li>◇ 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</li> <li>◇ 今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。</li> </ul>						